

## 特集 ②

# 恋活in八幡浜みなとと 〜太鼓の音がつなぐ人の縁〜

道の駅 みなとオアシス 八幡浜みなとと みなと交流館 館長補佐 市川 和人 (八幡浜市)

### 八幡浜みなととの誕生、 みなと交流館の役割

2013年4月、愛媛県八幡浜市の港に「道の駅 みなとオアシス 八幡浜みなとと」が誕生しました。「八幡浜みなとと」は地域の素材を活かした産直・物販・飲食施設の「アゴラマルシェ」と、八幡浜漁港に水揚げされた新鮮な魚を直売する「どーや市場」、そして、私が勤務する「みなと交流館」の3つの施設で構成されており、おかげさまで2年間で230万人以上の方に足を運んでいただける八幡浜の新しいシンボルとなりました。

そのなかで、みなと交流館では、「八幡浜みなとと」での年間イベントの企画や観光案内所としての機能、レンタサイクルの事業の実施や、貸館業務および施設全体の管理などを業務として行っています。また、南予で唯一、「中間支援組織」として、地域活動団体の課題を解決する応援、地域活動に参加する応援、新たな

地域活動団体を起こす応援などの業務も行っています。これらの業務を行うため、NPO法人みなとまちづくり八幡浜およびNPO法人八幡浜元氣プロジェクト(H26年6月法人化)の2団体がコンソーシアムを組んで、市から指定管理を受けております。今回の「恋活」のイベントについては、その一環で行っています。

### 和太鼓集団プロデュースの「恋活」

当初、指定管理を受けるにあたって、取り組みたい事業の1つとして「婚活」を掲げておりました。しかし、「婚活」というのは少し重たいイメージがあり、気軽に出会いの場を提供ができないだろう」という声が多くあり、結婚を前提にしながらも、「まずはお友達から」という気軽な出逢いを提供するため「恋活」という名前が付けられました。

「ドーン」と響く太鼓の音。会場中はその音が響くと参加者の皆さんの表情がや



豪快な太鼓の演奏でスタートします！

わらぎ、緊張した雰囲気が一気になくなっていくきます。みなと交流館で行われている「恋活」の定番のオープニングです。企画運営を行っている

のは、八幡浜市を中心に各地で活躍している和太鼓集団の雅組(みやびぐみ)のメンバーの皆さんです。型にはまらない和気あいあいとした楽しい雰囲気で行われる演出は、オープニングの太鼓演奏と同様、とても好評を得ています。

雅組は「太鼓を通じて八幡浜市を元気にしたい」という思いを胸に、全く何もないゼロの状態からスタートしたチームで、市内外のイベントだけでなく、単独



## 特集 えひめの婚活事情

時期に合わせてのきめ細やかな演出も



気になる相手の番号をお互い書いて発表する告白タイムおよびアタックチャンスなど最後までハラドキ

「恋活」は今夏までに計5回実施しています。開催時期は7月の七夕の時期と、12月のクリスマスの時期の年2回行い、開催時間帯は夕方の約3時間です。食事を食べながら、様々なイベントや交流を行うという形式で取り組んでいます。

イベントの内容はユニークで、一緒に太鼓をたたく、「ふれあい太鼓教室」やテーブルごとにかまぼこ板を積み上げて高さを競う「BOCOタワーゲーム」(これが意外と盛り上がります(笑))、もちろん1対1で話をする自由な時間や歓談時間なども設けています。そして最後に、

### 「恋活」の状況と成果

の演奏会から市内の公民館や学校などでの演奏会など、地域のために日々活動をされています。



地元の人気店が用意してくれるディナー、スイーツは毎回大好評!

ドキする内容となつていきます。

また、次回開催に向けて改善点を見つめるため、参加者全員からアンケートによる聞き

取りや、主催者メンバーとの反省会なども繰り返し行っています。40代の方からの参加の要望があることや、食事の立食の方がいいのか、席があつたほうがいいのかなど、細かな部分まで参加者目線で改善に取り組んでいることも、好評を得ている理由の一つだと考えています。

おかげさまで、計5回の開催で延べ238名の方に参加をしていただき、27組のカップルが誕生しました。また、既に1組が結婚し、近々お子様が誕生するとの嬉しい報告を受けております。

### 今後の「恋活」について

「恋活」は今後も定期的に開催し、一組でも多くの出会いがうまれたらいいと思つています。特に、市外からの参加者



会場全体が一体となって盛り上がります

の方が増えてきているので、地元の方とゴールインしていただき、八幡浜市の人口増につなげていけたらと思つています(笑)。

現在検討している取り組みと致しまして、「八幡浜みなと」を会場に、実際にゴールインしたカップルの結婚式ができないかということであります。海と山を目の前にした広大な緑地公園で行う結婚式は、きっと生涯忘れられないものになるはずですが、今年の冬にも実施を予定しています。スタッフ一同、多くの方のご参加を心よりお待ちしております。